

Genius Captain Departure 教科書 Question Box

■ ■ ■

このページは、大修館書店版英語教科書に関するページです。題材についての最新ニュース、本文の読みをめぐる Q & A、副教材のお知らせなど、教科書ごとにご紹介いたします。

◆英語教科書ホームページ◆ GCD Teacher's Room 毎月更新中！

大修館版英語教科書をご使用の先生方のためにホームページを開設いたしました。授業に役立つ情報満載です。是非一度、ご来室下さい。

①お手持ちのブラウザで<http://www.taishukan.co.jp/gcdroom/>を開きます。



②トップページ

●“英語教育最新 TOPICS”——英語教育に関する話題を毎月更新して載せています。

“最新 TOPICS”の下に、各教科書のボタンがあります。(左の枠<フレーム>からも各教科書のページへジャンプできます。)



③各教科書のページ

各教科書のページには次のものが掲載されています。

- 1) 各教科書の最新ニュース
- 2) シラバス (閲覧用 / Word 形式ダウンロード)
- 3) 各レッスンへのリンク



④各レッスンのページ

そのレッスンの授業で役立つリンク集とニュースのアーカイブが掲載されています。

(詳細は巻末広告もご覧ください)

★各教科書のシラバスも掲載中です。ご参照ください。また、この G.C.D. 英語通信の記事もお読みいただけます。

Genius English Course I・II

Q. 私の学校では、単位数の都合上、訳文先渡し授業を実施しているが、教科書本文の訳文のデータは用意されているか。

A. 訳文のテキストデータは指導用 CD-ROM に収めました。レッスンごとに分かれておりますので必要なセクションを選択してご利用ください。

CD-ROM のデータは以下の手順で開くことができます。

- ① CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに入れる。
- ②すぐにインストール画面が開始するので一度「キャンセル」を選択する。
- ③マイコンピュータをダブルクリックする。
- ④CD ドライブを右クリックし、「開く」を選択する。
- ⑤フォルダ名「yakurei」をダブルクリックする。

Q. 教科書で学んだ学習内容の発展問題のようなものはあるか。

A. 『大学入試対策問題集』を現在作成中です。英語 I と II のそれぞれにご用意します。音声 CD つきで定価 980 円です。

内容は、レッスンごとに「文法・語法、重要表現」「長文」「リスニング」の 3 つのパートで構成されています。大学入試の過去問から精選した問題ばかりです。

それぞれのパートは以下の内容となっております。

文法・語法、重要表現：各課で学んだ文法・語法、重要表現を中心に問題を整理しました。

長文：各課の本文と同じテーマの内容を扱った長文とその問題を収めました。

リスニング：いろいろな形式の問題を全体を通して難易度順に並べました。1 年生からセンター入試対策のトレーニングができます。

一部見本がございいますので、ぜひご検討ください。

Captain English Course I・II

Q. *Captain I* の CD 音声について：Lesson 1 と 3 の英語以外の言語は誰が吹き込んでいるのか？

A. Lesson 1 の Get Ready ではヒンディー語、フランス語、インドネシア語でそれぞれ「はじめまして」「こんにちは」、Lesson 3 ではヒンディー語、韓国語、中国語、マレー語でそれぞれ「おいしい」と吹き込まれていますが、これらは東京外国語大学の留学生の方にご協力いただきました。

Q. *Captain II*, Lesson 1 の「ニューヨークにある大学」とは具体的にどこの大学か？

A. Lesson 1 はジェニーが美紀に自分の大学を案内して回る、という設定になっています。ジェニーの大学は特定されていませんので、写真のキャプションにも大学名には特に触れていませんが、これはコロンビア大学の図書館です。

コロンビア大学は1754年創立、ニューヨーク市アップパーウエストサイドに位置し、学生数約2万1,000人の大きな大学です。アメリカ東部の伝統校「アイビリーグ」の1つでもあります。

この図書館は屋根がドーム型になっており、大学の象徴的存在ともなっています。

ちなみに1987年、英語教師のために「コロンビア大学大学院ティーチャーズ・カレッジ日本校」が東京にオープン。東京で必要単位を取得すれば英語教授法 (TESOL) 修士号が取得できます。詳しくは http://www.tc-japan.edu/about_tc/about_tc_japanese.html をご覧ください。



コロンビア大学の
図書館

Departure Oral Communication I

Q. 『学習ノート』の音声はどこに収録されているか？

A. 『学習ノート』は授業中の活動の補助としてお使いいただくものとして作成しているため、Get Ready や Listen & Speak など、事前に聞いてしまうと答えがわかってしまうものについては『指導用 CD』のみに収録しています。『生徒用 CD』には、メインダイアログ (Dialog-Go!), 発音練習 (Dialog-Ready?), 表現のまとめ (Function) のように、繰り返し聞いて定着を図ってほしい要素を収録しました。

Q. Lesson 14 We Are Asians! の Task で「シンガポールではチューイング・ガムをかむのは禁止されている」とあるが、最近法令が変わったのでは？

A. ご指摘の通りです。1992年以来、ガムの輸入・製造・販売は法律で全面的に禁じられていましたが、米国との自由貿易協定により、2003年からシンガポールでも米国製のシュガーレスガムが一部薬局で販売されるようになりました。ただし、購入には医師や歯科医師の処方箋が必要なため、まだ全面禁止解除とはいえないようです。

Q. Lesson 15 You Have Clicked the Wrong Button! の Listen & Speak 1 に次のような文があるが、どのような意味になるのか？ Chris: Oh, I'm glad I'm not back home at Central High today. back は不要のように思うのだが？

A. 交流校の服装規定について話しているクリスが、「ああ、今日セントラル高校に(戻って)いなくてよかったよ」と言っています。この箇所はたしかに back がなくても全体の意味はそれほど変わりませんが、執筆時にネイティブの先生から、back があるほうが、自分がアメリカに「戻って」いたならば、というニュアンスが出て、自然であるとの指摘を受けて入れたものです。Departure では口語としての自然さを意識してテキストを作成しています。